

# 香南清掃組合新ごみ処理施設建設工事

## 総合評価審査講評

平成 26 年 1 月

香南清掃組合 総合評価審査委員会

## 序

香南清掃組合（以下「組合」という。）では、既設ごみ処理施設の老朽化により、これに替わる新ごみ処理施設の建設工事（以下「本工事」という。）を計画している。

「組合」は、「本工事」の入札・契約にあたり、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」（平成 12 年 11 月 27 日制定）及び「公共工事の品質確保の促進に関する法律」（平成 17 年 3 月 31 日制定）を踏まえ、透明性・公平性の確保、競争性の担保及び製品品質の確保を目的とし、価格と品質を総合的に評価する総合評価一般競争入札方式の採用を決定した。また、「組合」では、総合評価一般競争入札の円滑な手続きを行うため、地方自治法施行令（昭和 22 年政令第 16 号）第 167 条の 10 の 2 第 4 項の規定に基づき香南清掃組合総合評価審査委員会（以下「委員会」という。）を設置した。

「委員会」では、組合で定めた下記に示す新ごみ処理施設の施設計画基本コンセプトに沿うよう技術的な評価基準を定めるとともに、入札参加者がより積極的な技術提案を行えるように配点等に配慮しつつ落札者決定基準を定めた。

### 香南清掃組合新ごみ処理施設計画基本コンセプト

1. 循環型社会に適応した施設  
ごみの減量、4R（Reduce, Reuse, Recycle, Refuse）の実施により資源循環の促進を図る。
2. 環境にやさしく安全に配慮した施設  
環境負荷の最小化を図り、地域の安全安心を実現する事故の無い施設の建設を目指すと共に的確な環境情報を発信できる施設とする。
3. 経済性・エネルギー利用に優れた施設  
施設の小型化によるコストの削減と施設から発生する熱エネルギーの有効活用を図る。
4. 周辺環境と調和する施設  
構成 3 市（南国市、香南市、香美市）の自然環境に適合し、地域の景観及び環境の保全を重視した施設を実現する。
5. 危機管理に対応した施設  
南海地震・豪雨等自然災害に強い施設とし、災害廃棄物の広域処理の可能な施設とする。
6. 環境・エネルギー教育の起点となる施設  
新しい施設及び旧施設のスペースを活用した環境及びエネルギーに係わる情報発信及び教育の起点とする。

平成 25 年 2 月 15 日及び平成 25 年 3 月 22 日に第 1 回、第 2 回の「委員会」が開催され、事業者選定方法・技術評価項目・配点方法の検討等が行われ、平成 25 年 6 月 3 日に「本工事」の入札公告が実施された。これに対し 2 共同企業体より技術提案書及び入札書の提出があり、意欲と創意工夫に富んだ技術提案が成された。「委員会」は平成 25 年 12 月 8 日午前に提案を行った 2 共同企業体と技術対話を実施し、同日午後技術審査・開札・落札候補者選定を慎重に行い、結果を組合長に報告した。

「委員会」の役割が終了したことから、事業者選定に係る総合評価の検討内容及び経過の総括として、ここに落札候補者の選定に係る講評をとりまとめる。

これにより、新ごみ処理施設が組合構成市（南国市、香南市、香美市）の循環型社会形成の推進に大きく貢献することを期待する。

最後に、応募者の 2 共同企業体には、提案要望内容が多岐にわたり、その検討に多大な労力をお掛けしたことと思われるが、技術提案書をまとめられた熱意に敬意を表するとともに深く感謝を申し上げます。

平成 25 年 12 月 香南清掃組合総合評価審査委員会

## 目 次

1. 事業の目的	1
2. 工事概要	1
(1) 工事名	1
(2) 工事場所	1
(3) 工事概要	1
(4) 工期	1
3. 落札候補者選定の方法	1
(1) 総合評価審査委員会	1
(2) 落札候補者選定までの経緯	2
(3) 落札候補者選定までの手順	3
(4) 評価方法	4
(5) 落札者決定基準	4
4. 審査手順	7
(1) 第1段階 資格審査	7
(2) 第2段階 基礎審査	7
5. 審査結果の概要	7
(1) 資格審査結果	7
(2) 基礎審査結果	7
(3) 技術審査結果	7
(4) 価格審査結果	10
(5) 総合評価結果	11
(6) 落札候補者の選定結果	11
6. 審査講評の総括	11

## 1. 事業の目的

南国市、香南市及び香美市から排出される一般廃棄物のうち、可燃ごみ等の可燃物を焼却し、焼却により発生する熱エネルギーを有効活用（発電および熱利用）する「エネルギー回収推進施設」を建設し、適正な処理を行っていくことを目的とする。

## 2. 工事概要

### (1) 工事名

香南清掃組合新ごみ処理施設建設工事

### (2) 工事場所

高知県南国市廿枝 1455

### (3) 工事概要

施設の種類	施設規模等
ごみ焼却施設 (エネルギー回収推進施設)	120t/日（24時間運転）【60t/炉×2炉】 焼却方式：ストーカ方式 余熱利用：発電、温水（施設内） 発電規模：1,550kw（発電機容量ベース）

### (4) 工期

契約日～平成29年3月

## 3. 落札候補者選定の方法

### (1) 総合評価審査委員会

審議及び審査は、公平性及び透明性を確保し、専門的知見に基づく評価を行うことを目的に、学識経験者3名を含む、以下の5名の委員により構成される総合評価審査委員会において行った。なお、南国市財政課課長については、異動に伴い交代を行っている。

氏名（50音順）	職域分類	所属等
荒井 喜久雄	学識経験者	公益社団法人 全国都市清掃会議 技術部長
◎多賀谷 宏三	学識経験者	高知工業高等専門学校名誉教授 工学博士 香南清掃組合ごみ処理施設建設検討 委員会委員長
○藤村 明男	行政職	南国市 副市長
藤吉 秀昭	学識経験者	一般財団法人 日本環境衛生センター 常務理事 工学博士
[平成24年度]光野 末吉 [平成25年度]平山 耕三	行政職	南国市財政課 課長 〃

◎は委員長、○は副委員長

## (2) 落札候補者選定までの経緯

第1回総合評価審査委員会開催から落札候補者選定までの経緯を表1にまとめる。

表1 落札候補者選定までの経緯

内 容	日 付
第1回総合評価審査委員会 (落札者決定基準等に関する検討)	平成25年2月15日(金)
第2回総合評価審査委員会 (落札者決定基準等に関する検討)	平成25年3月22日(金)
入札公告	平成25年6月3日(月)
入札説明書および落札者決定基準公表開始	平成25年6月3日(月)
建設工事場所確認	平成25年6月10日(月)～6月14日(金)
入札説明書に関する質疑受付	平成25年6月20日(木)：JFE 平成25年6月24日(月)：日立造船
入札説明書に関する質疑への回答	平成25年7月1日(月)
入札参加資格審査申請書提出	平成25年7月2日(火)：JFE 平成25年7月8日(月)：日立造船
入札参加資格審査結果通知	平成25年7月16日(火)
募集要項配付	平成25年7月17日(水)
募集要項に関する質疑受付	平成25年7月26日(金)：日立造船 平成25年7月29日(月)：JFE
募集要項に関する質疑への回答	平成25年8月6日(火)
技術提案書提出	平成25年8月29日(木)：JFE 平成25年8月30日(金)：日立造船
入札書受付	平成25年10月29日(火)：JFE 平成25年10月30日(水)：日立造船
基礎審査結果通知	平成25年11月25日(月)
技術提案書に関する質疑送付	平成25年11月25日(月)
技術対話の日時・場所の通知	平成25年11月25日(月)
第3回総合評価審査委員会 (技術対話)	平成25年12月8日(日)午前
第4回総合評価審査委員会 (技術審査、開札、落札候補者選定)	平成25年12月8日(日)午後

JFE：「JFEエンジ・新進建設特定建設工事共同企業体」の略

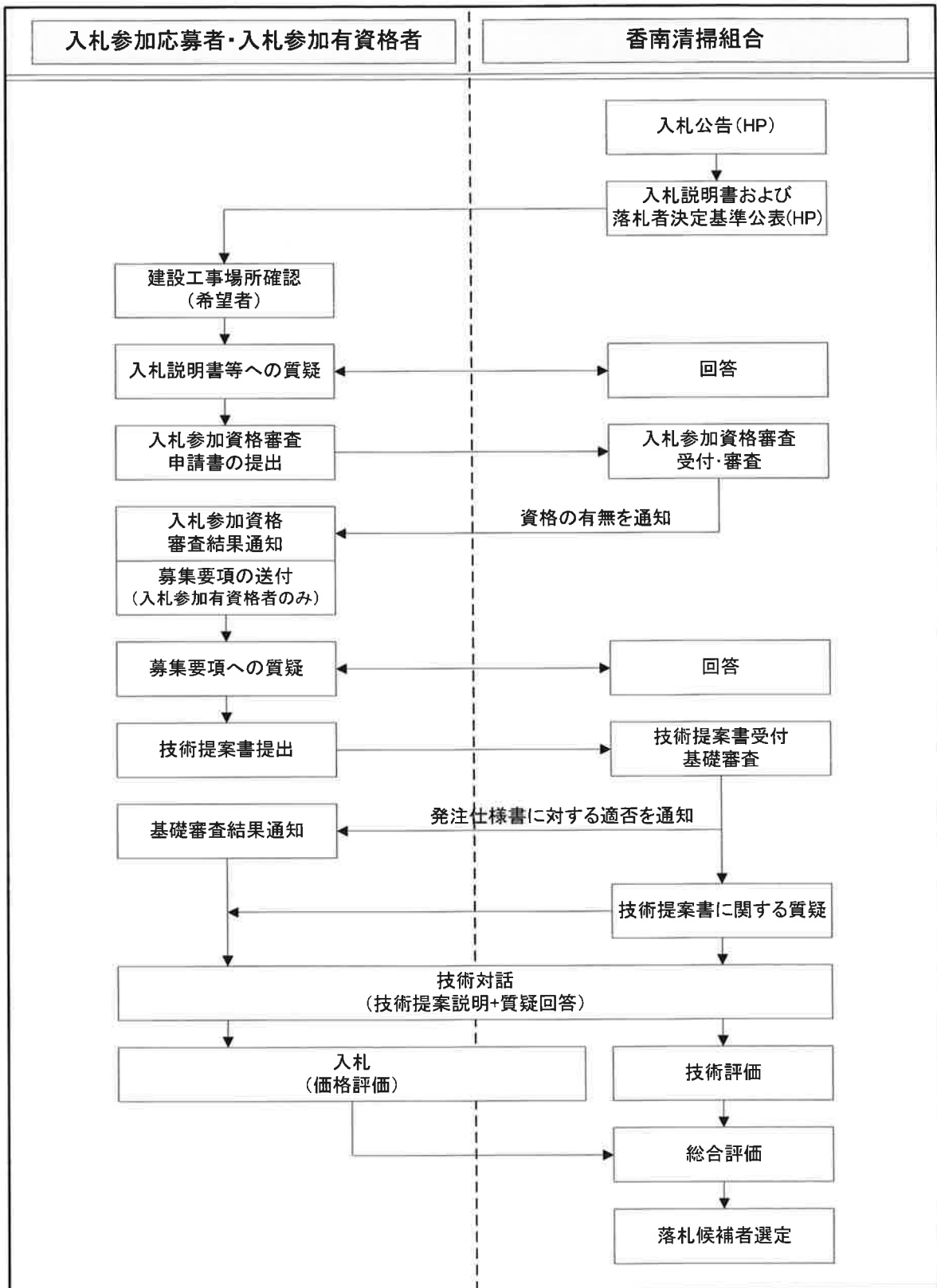
日立造船：「日立造船・大旺新洋特定建設工事共同企業体」の略

【いずれも後述する入札参加応募共同企業体】

(3) 落札候補者選定までの手順

入札公告から落札候補者選定までのフローを以下に示す。

落札候補者選定フロー



#### (4) 評価方法

落札者の決定にあたっては、「本工事」にとって最適な事業者を選定するため、「技術提案（非価格要素）」と「価格提案（価格要素）」を総合的に評価する総合評価方式とした。

#### (5) 落札者決定基準

評価にあたっては、下記の定量化審査により評価を行い、予定価格の制限範囲内の価格をもって入札した者のうち、総合評価点の最も高い提案者を選出し、落札候補者とした。

##### 【定量化審査】

##### ① 審査方法

提案書類に記載された内容および入札価格については、以下の②、③に示す定量化方法に従い点数化を行った。また、評価を技術評価及び価格評価に区分し、その配点を技術点（70点）、価格点（30点）とし、合計100点とした。

##### ② 技術点

- ・技術評価については、「基礎審査」及び「本審査」に区分して評価し、「基礎審査」については、必須の要求項目とし、技術点は付与しないものとした。
- ・「基礎審査」は「発注仕様書」に関する項目とし、「発注仕様書」を満たしていない場合は入札参加資格を失うものとした。
- ・「本審査」は、表2の評価項目及び配点により実施した。個別項目の評価については、基本的にA評価からE評価までの5段階評価とし、各個別配点に対して、表3のような比率（0%～100%）を乗じて点数化を行った。ただし、定量評価を行うとした項目については、その程度に応じてそれぞれ点数化を行った。

なお、得点は小数点以下第3位を四捨五入して、小数点以下第2位まで算出を行った。

- ・技術評価については、次の算出式から技術点を付与した。

$$\text{技術点} = \frac{\text{各入札参加有資格者の得点（満点の場合は700点）}}{10}$$



表2 評価項目及び配点（得点）

評価の項目	評価の視点	配点
<b>1. 施設計画・施工計画</b>		
1) 施設配置計画	(運転職員の利便性、機器配置の合理性) ①工場内の中央制御室、炉前、蒸気タービン、プラントホーム、事務室の配置が使いやすい提案とされているか。 ②工場内の主要部通路（点検及び作業動線）が合理的で使いやすい提案とされているか。 ③工場内の機器配置（平面的・空間的）が合理的で使いやすい提案とされているか。	200 40
2) 動線計画	(車両の安全性、利便性) ①ごみ収集車両、一般搬入車両、メンテナンス車両、薬品搬入車両、灰運搬車両、職員車両、来客車両の動線が重複せず、使い易い動線がされているか。	40
3) 維持管理計画	(メンテナンスの容易性) ①火格子・耐火煉瓦の交換、ろ布の交換、触媒の交換が容易にできるような提案がされているか。 ②電気室、誘引送風機、蒸気タービン、空気予熱器その他重要機器の大規模補修がしやすいような提案がされているか。 ③アフターサービスについて優れた提案がされているか。 (用役員の適切性) ④薬剤、使用電力量の項目・数値・単価の各項目ごと15年間（年度ごとの時系列）の費用について、低減するための提案がされているか。	40
	(維持補修費) ①補修費、点検費の項目ごと15年間（年度ごとの時系列）の費用について優れた提案がされているか。 ②ろ布、触媒、過熱器の交換頻度について、耐久性に優れた提案がされているか。 ③主要設備を延長するために設備仕様の改善提案がなされているか。	40
4) 建設工事中の環境対策	(建設時環境対策) ①建設工事中の騒音・振動・粉じん・排水対策について、優れた提案がされているか。	20
5) 施工計画・施工管理	(施工計画・施工時の対策) ①効率的な工期履行のための施工計画について、優れた提案がされているか。 ②設計・建設業務を確実に履行するための施工管理について、優れた提案がされているか。 ③建設工事中の安全対策について、優れた提案がされているか。	20
<b>2. 安定稼働、安全対策</b>		
1) 発電実績	(実績) ①類似規模における稼働実績を多く有しているか。(ボイラ蒸気タービン発電付)	10
2) 発電	(発電容量) ①発電量が大きくなるような提案がされているか。 ②1炉稼働時の発電可能出力限界が優れているか。	30
3) 運転管理	(運転員の快適性・安全性) ①運転職員の快適性及び安全性（日常点検時）に配慮について、優れた提案がされているか。 ②運転職員の省力化（自動化及び集中管理：DCS等）について、優れた提案がされているか。 ③労働安全衛生の観点から、必要な設備が適切に設置されているか。	20
4) 安定稼働	(受入対策) ①搬入禁止物の混入防止対策について、優れた提案がされているか。 (循環型社会に適合した処理システム) ②施設の安定稼働に配慮した処理システムについて、優れた提案がされているか。 ③循環型社会（3Rの実施によりごみの減量、資源循環の促進、燃焼効率の向上など）に適合した優れた提案がされているか。 (設備機器の信頼性) ④脱硝剤のクリンカ付着防止対策について、優れた提案がされているか。 ⑤火格子の焼損・磨耗・異物輸送対策について、優れた提案がされているか。 ⑥脱硝剤の主灰シュートの閉塞・異物除去対策について、優れた提案がされているか。 ⑦集じん灰処理装置の閉塞・固着防止対策について、優れた提案がされているか。 ⑧タービンの腐り対策について、優れた提案がされているか。	60
5) 事故対応方法	(事故対応) ①プラント設備における火災、爆発等の防止対策、事故発生後の被害拡大防止対策（運転職員の安全対策含む）について、優れた提案がされているか。 ②事故発生後、速やかに復旧するための対策について、優れた提案がされているか。	20
6) 災害時の対応 (大規模地震・浸水)	(大規模災害対策) ①機器及び配管、その他設備について地震対策が優れているか。 ②大規模地震発生後の事業継続性を考慮した復旧の容易さについて、優れた提案がされているか。 ③各種機器の浸水防止対策について、効果の確実性の高い提案がされているか。 ④大地震時、浸水時における避難計画・避難経路・避難場所に関わる提案がされているか。 ⑤災害ごみへの対策について優れた提案がされているか。	40
7) 来場者、見学者の安全対策	(非職員の安全対策) ①来場者、見学者の安全について、優れた提案がされているか。	20
<b>3. 環境</b>		
1) 省エネ・地球温暖化対策	(環境負荷低減) ①省エネ及び地球温暖化について、優れた提案がされているか。	20
2) 景観への配慮	(景観への配慮) ①景観への配慮について、優れた提案がされているか。	80
<b>4. 地域貢献</b>		
1) 地域経済貢献	(地域経済への寄与) ①地域経済貢献について、優れた提案がされているか。	100
<b>5. 啓発・教育</b>		
1) 見学者への配慮、教育設備の充実度	(啓発・教育施設の充実) ①ごみ処理施設の機能を学ぶための適切な動線、見学内容、快適性について優れた提案がされているか。 ②環境エネルギー（太陽光発電、風力発電、蓄電方法含む）に関する啓発設備の優れた提案がされているか。 ③研修室及び啓発教室について、使いやすさや様々な用途に使えるような工夫がなされているか。 ④屋内余热利用施設（足湯等）について、一般の方々の利用しやすさ、デザイン等について優れた提案がされているか。 ⑤環境エネルギー及び余热利用の実行可能な供用及び情報発信により地域経済発展への効率的な運用及び有益性について優れた提案がされているか。 ⑥研修・啓発施設等の企画運営体制について優れた提案がされているか。	100
		700

表3 評価項目の採点基準

評価	評価内容	評価項目の採点方法
A	特に優れている	配点×100%
B	AとCの中間程度	配点× 75%
C	優れている	配点× 50%
D	CとEの中間程度	配点× 25%
E	発注仕様を満たす程度	配点× 0%

③ 価格点

・入札価格の確認

入札金額が予定価格を超えていないことの確認を行うものとした。なお、本入札については、低入札価格調査基準（失格基準あり）を設けた。開札にあたっては入札に参加した2共同企業体グループの立ち会いの下、入札書を開封し2共同企業体グループの入札価格を確認するとともに、組合が設定した予定価格、低入札価格調査基準価格、失格基準価格についても2共同企業体グループの代表者に確認させた。

- ・価格点については、予定価格の範囲内の入札金額に応じて次の算出式から価格点を付与した。

$$\text{価格点} = 30 \text{点 (価格点の配点)} \times \frac{\text{最低入札価格}}{\text{入札価格}}$$

得点は小数点以下第3位を四捨五入して、小数点以下第2位まで算出するものとした。

④ 総合評価点

②、③で示した技術点及び価格点より総合評価点を算出した。

総合評価点の算出式は以下の通りである。

$$\underline{\underline{\text{総合評価点} = \text{技術点} + \text{価格点}}}$$

#### 4. 審査手順

##### (1) 第1段階 資格審査

入札参加応募者から提出された入札参加資格審査申請書を基に、入札参加応募者が入札参加資格を満たすことを確認した。

##### (2) 第2段階 基礎審査

資格審査に合格した入札参加応募者（入札参加有資格者）に、技術提案書の提出を求め、技術提案書に不備が無いことを確認した。その後、技術提案書（基礎審査）が発注仕様書に記載された条件を満たしていることを確認した。

##### (3) 第3段階 技術提案書の審査（本審査）

技術提案書（本審査）について、落札者決定基準に従い評価を行った。

#### 5. 審査結果の概要

2グループの共同企業体より応募があり審査を実施した。審査に当たっては会社の名称がわからないよう便宜的に審査名称を以下のようにして審査を行い、審査完了時に明らかにした。

審査名称	入札参加応募者
ヤマモモ	日立造船・大旺新洋特定建設工事共同企業体
タチバナ	J F E エンジ・新進建設特定建設工事共同企業体

##### (1) 資格審査結果

上記の2グループの共同企業体から入札参加資格審査申請書の提出があり、2グループ共入札参加資格を満たしていることを確認した。

##### (2) 基礎審査結果

平成25年8月30日（金）までに、2グループの共同企業体の入札参加有資格者から技術提案書が提出された。組合は、提出された技術提案書について以下の要件に関する確認を行い、2グループの共同企業体とも全ての要件に適合していることを確認した。

- ・技術提案書に不備が無いこと。
- ・技術提案書（基礎審査）が発注仕様書に記載された条件を満たしていること。

##### (3) 技術審査結果

技術審査は、評価項目ごとに総合評価審査委員が採点する方法により実施した。なお、技術審査を実施するにあたり、「委員会」による技術対話を個別に実施した。

実施日：平成25年12月8日（日）

実施場所：香南清掃組合2階会議室

実施要領：①入札参加有資格者による提案内容の説明：各共同企業体とも30分

②質疑応答：各共同企業体とも約40分

技術提案に対する得点及び技術評価点を表4及び表5に示し、技術提案に対する講評を表6に示す。

表4 技術提案に対する得点結果

	評価項目	配点	日立造船・大旺新洋 特定建設工事共同企業体	JFEエンジ・新進建設 特定建設工事共同企業体
1	施設計画・施工計画	200	134.25	156.35
2	安定稼働、安全対策	200	142.51	155.45
3	環境	100	58.00	78.00
4	地域貢献	100	98.00	100.00
5	啓発・教育	100	68.00	77.00
合計得点		700	500.76	566.80

表5 技術評価点

	日立造船・大旺新洋 特定建設工事共同企業体	JFEエンジ・新進建設 特定建設工事共同企業体
技術評価点	50.08	56.68

表6 技術提案に対する講評

評価大項目	評価中項目	評価の内容
1 施設計画・ 施工計画	1) 施設配置計画	両共同企業体とも指定箇所（中央制御室、炉前、事務室等）と中央制御室との移動がスムーズになるよう配置計画に工夫がなされ、運転管理に対して配慮されている。「タチバナ」は、見学者動線を含む工場内主要動線の合理性等が評価された。
	2) 動線計画	車両動線については「ヤマモモ」は一方通行の原則を忠実に計画し、「タチバナ」は部分対面があるもののシンプルな動線とすることに工夫が見られ共に評価された。
	3) 維持管理計画	「ヤマモモ」は、維持管理に係わる経済性追求の提案が高く評価された。「タチバナ」は対応の迅速性も評価された。
	4) 建設工事 中の環境対策	両共同企業体とも建設工事中の自主基準値を厳しく設定し、騒音・振動・粉塵・水質汚濁など近隣住民への配慮を含めた提案がなされ高く評価された。
	5) 施工計画 ・施工管理	両共同企業体とも建設工事中の周辺への安全対策やオープン化工法・ブロック化工法のように効率的

				な施工計画について提案がなされ、実施体制も含め高く評価された。
2	安定稼働、安全対策	1)	発電実績	計画における施設規模のように1炉当たりの規模が比較的小さい施設における実績について評価を行ったが、両共同企業体とも多くの実績を有し、非常に信頼性が高いものと評価された。
		2)	発電	「ヤマモモ」は、最大発電能力重視の設計提案がなされ、「タチバナ」は、現状のごみ量や将来的なごみ減量に鑑み、現実的な設計提案がなされた。それぞれに特徴があるが、総合的には「ヤマモモ」の提案が評価された。
		3)	運転管理	両共同企業体ともダイオキシン類の管理区画と非管理区画との分離が明確であり、エアシャワー等を設け暴露防止対策、安全対策を提案している点が評価された。
		4)	安定稼働	両共同企業体とも機器の改良、冗長設計の導入、予備機の設置など優れた提案が見られ、事故や故障に対する対策が十分になされている点が評価された。
		5)	事故対応方法	両共同企業体ともピット火災や灰冷却装置の水素爆発対策、搬入物への異物混入対策に配慮された提案となっている。「タチバナ」は、ハード・ソフト両面の火災検知システムの提案が評価された。
		6)	災害時の対応	両共同企業体とも洪水等による浸水対策については、主要設備設置高、エアタイト扉、止水板など各所に浸水時の対策が施され、大地震災害時の緊急避難場所としての活用、停電時の自己発電による自立運転可能なシステムなどの提案がなされ高く評価された。
		7)	来場者・見学者の安全対策	見学者動線については、「ヤマモモ」は、標準レベル以上の安全配慮は見られるものの横断歩道部分で車両動線と重なる計画となっている点が低い評価となった。一方、「タチバナ」は立体的動線を確保することにより、車両動線と見学者動線を完全分離している点について高く評価された。
3	環境	1)	省エネ・地球温暖化対策	「ヤマモモ」は、照明や空調などを省エネの対象とし、定量的省エネ量を示している点が評価され、「タチバナ」は多様な省エネ対策が評価された。また、両共同企業体とも明文化していないが、機器の改良

				等による高効率化が提案され環境への負荷の低減を図ろうとする意図が読み取れる点が評価された。
		2)	景観への配慮	「ヤマモモ」は和をテーマとしたデザインとなっており、木材利用による柔らかいイメージと落ち着いた雰囲気となっている点、「タチバナ」は土佐建築をモチーフとし、流線型の外縁部分が特徴的なデザインである点が高く評価された。
4	地域貢献	1)	地域経済貢献	地域経済貢献については、両共同企業体ともに県内企業への発注金額が大きく十分な配慮がなされており、共に評価された。
5	啓発・教育	1)	見学者への配慮、教育設備の充実度	ごみに関する啓発設備や環境教育設備について、先進性において両共同企業体とも優れた提案がある。環境エネルギーに関する設備については、「タチバナ」の多彩な提案が高い評価を得た

※表中の略号は以下の共同企業体を示す。

ヤマモモ：日立造船・大旺新洋特定建設工事共同企業体

タチバナ：J F E エンジ・新進建設特定建設工事共同企業体

#### (4) 価格審査結果

価格審査に当たっては、両共同企業体立ち会いの下、事前に提出されていた入札書の開封を行い、お互いの金額の確認を行わせるとともに、予定価格、低入札価格調査基準価格、失格基準価格についても両共同企業体に開示を行った。表7に予定価格、低入札価格調査基準価格、失格基準価格を、表8に入札価格及び価格点をそれぞれ示す。

その結果、1共同企業体が予定価格超過により失格となり、他の共同企業体は30点満点となった。

表7 予定価格等

予定価格（税抜）	6,923,000,000円
低入札価格調査基準価格（税抜）	6,158,480,000円
失格基準価格（税抜）	5,850,240,000円

表8 入札価格及び価格点

名 称	入札金額（税抜）	価格点
日立造船・大旺新洋 特定建設工事共同企業体	7,100,000,000円	予定価格超過により失格
J F E エンジ・新進建設 特定建設工事共同企業体	6,850,000,000円	30.00

## (5) 総合評価結果

技術点、価格点及びそれらの合計点である総合評価点は、表9のようになった。

表9 総合評価点の総括

名 称	技術点	価格点	総合評価点 (技術点+価格点)
日立造船・大旺新洋 特定建設工事共同企業体	50.08	失格	失格
J F E エンジ・新進建設 特定建設工事共同企業体	56.68	30.00	86.68

## (6) 落札候補者の選定結果

総合評価審査委員会では、落札者決定基準に基づいて公平かつ専門的な知見に基づいた審査を行い、J F E エンジ・新進建設特定建設工事共同企業体を落札候補者とした。

## 6. 審査講評の総括

「本工事」に係る提案書類に関し、2共同企業体から技術提案書及び入札書の提出を受けた。いずれも国内のごみ処理技術に精通する大手メーカーを代表企業とする特定建設工事共同企業体であり、複数参加により競争性が担保でき、それぞれ創意工夫に富む意欲的な提案を受けることができたと考える。

各共同企業体から提出された技術提案書は、豊富な経験とノウハウが十分盛り込まれ、優れた技術提案であり、すべての項目について組合が提示した発注仕様書に基づく基礎審査項目を満足することを確認し、いずれが落札候補者となった場合においても、ごみ処理施設として確保すべき性能・機能について満足できることを確認した。

次に、落札者決定基準に基づいて技術評価を実施した結果(概要は表6)、J F E エンジ・新進建設特定建設工事共同企業体が高い評価を得た。また、同共同企業体は価格においても優位な提案をしており、技術点においても、価格点においても1位となり、必然的に総合評価点も1位となった。

技術的に優れ、かつ、价格的にも安価であるものが落札候補者となったことについては組合や地域にとって最も喜ばしいことであると考ええる。

J F E エンジ・新進建設特定建設工事共同企業体はごみ処理施設として組合の発注仕様書で示す必要な機能は確保しているが、「総合評価審査委員会」としては、J F E エンジ・新進建設特定建設工事共同企業体に対し、提案書類で提案された内容及び技術対話における意見を誠実かつ確実に履行し、さらに今後の実施設計における「組合」との技術交渉を誠実に実行すると共に、安全・確実に後世に残る工事の実施を徹底することを期待する。

以上